

2009 年度第 6 回日本語教育研修会：報告

今回は、塚本尋先生(杏林大学外国語学部教授)を講師にお招きし、「通訳者養成メソッドの教育現場への応用」をテーマに研修会を行いました。

日 時：[高雄] 2010 年 3 月 20 日(土) 13:30~17:30

[台北] 2010 年 3 月 21 日(日) 13:30~17:30

参加者：台湾の日本語教育関係者 [高雄] 44 名、[台北] 60 名

今回の研修会は、第 1 部が通訳者養成メソッドの概説、第 2 部が杏林大学外国語学部での「中国語通訳法」授業実践報告、第 3 部がワークショップ、という 3 部構成で行われました。

まず第 1 部は、通訳とは何かというお話から始まり、通訳者養成に用いられる 8 つの基礎訓練法、教材、通訳者に要求される表現レベル、それを満たすための音声表現の指導法などが概説され、実際の授業で 4 人または 3 人一組で行われている通訳形式の練習の方法や、その成績評価の方法などが紹介されました。

第 2 部では、「中国語通訳法」授業について詳説されました。授業の目的や演習を通して獲得が期待されるスキル、授業計画、受講の条件とプレイスメントテスト、クラス構成と目標設定、そして、期末テストに至るまでの授業の流れが説明された後、期末考査としての学生による通訳パフォーマンスの映像が紹介されました。

第 3 部では、通訳演習のワークショップが行われました。発音練習やシャドーイング練習の後、グループごとに実際の通訳形式での練習が講師の指導を受けながら行われました。最後に行われた発表時には、声の出し方や話し方だけでなく、立つ位置にまで細かい指摘がなされ、楽しい雰囲気ながらも最後まで気の抜けない研修会となりました。

以上のように、今回は、非常に多くの参加者を得て、とても有意義な研修会となり、「資料映像によって解説内容がより一層わかりやすくなり説得力もアップした」、「先生が教えてくださった通訳の練習方法は実用的だと思う」、「教壇に立って実演したのが面白かった」、「来てよかった」など、好意的な感想が多く寄せられました。

塚本尋先生



研修会の様子

